



町民の憩いの場・森の健康館



地域医療の拠点である津別病院



一般廃棄物最終処分場

【総務費】

- ・庁舎等維持管理経費 2,149万円
バスターミナル改修工事、庁舎耐震診断などに係る経費
- ・森の健康館管理業務 2,862万円
森の健康館の管理運営、水道施設改修調査設計などに係る経費
- ・空き家等撤去促進事業 1,000万円
良好な生活環境と美しい景観を創出することを目的に、空き家等を撤去する費用の一部を補助

【民生費】

- ・認定こども園整備事業 4,047万円
社会福祉法人設立準備会補助金などに係る経費
- ・保育所運営経費 6,985万円
保育所運営委託料、新たに一時保育事業の実施などに係る経費

【衛生費】

- ・地域医療維持助成 7,000万円
住民の健康を守る地域医療を維持確保するため津別病院に助成
- ・ごみ焼却施設管理経費 3,290万円
一般廃棄物広域処理事業負担金などに係る経費
- ・一般廃棄物最終処分場管理経費 5,639万円
一般廃棄物最終処分場施設管理、土堰堤整備工事などに係る経費

平成25年度の主な事業をお知らせします

【農林業費】

- ・町有林整備事業 5,341万円
施業計画に基づく造林事業等の実施に係る経費
- ・基幹作業道開設事業 2,300万円
林業専用道恩根1号線開設工事（L=1.56km）に係る経費

【土木費】

- ・町営住宅整備事業 1,553万円
豊永団地屋根・外壁張替改修工事などに係る経費
- ・町道整備事業 7,609万円
町道104号線舗装補修工事などに係る経費

【消防費】

- ・防災対策経費 246万円
拠点避難所防災備品購入に係る経費

【教育費】

- ・津別高校振興対策事業 1,023万円
津別高校振興対策（バス通学費、校納金、教科書等の助成、津別高校振興対策協議会への交付金）に係る経費
- ・教材・備品等購入経費 1,055万円
小中学校の保健体育、音楽、理科教材等の購入、PC更新に係る経費
- ・放課後児童クラブ経費 789万円
放課後児童クラブに係る経費



愛林のまの木材資源



町営豊永団地



津別高校振興対策を継続

平成25年度 町政方針（抜粋）

美しくて美味しい町に・・・3年目

3月11日から始まった定例町議会において、平成25年度予算の審議が行われました。議会開会の冒頭で佐藤町長から予算提案にあたり町政方針が示されましたので、その一部を紹介し（町政方針の全文は町のホームページに掲載しています）。

地域社会は、一定の周期で変化を繰り返します。道路や橋なども含む公共施設全般の老朽化が進み、再整備が必要となつていきます。特に、衣食住の一つである住環境は、民間借家の絶対的不足と相まって脆弱な状態となつてい

町民とともに作り上げた各計画を実現

また、少子高齢化が進み、人口はかつての3分の1にまで減少し、集落によつては高齢化率が6割に達しようとしているところもあります。単に見守ることにとどまらず、人と人との「関係」を重視し、その集落の地域力そのものを向上させていく必要があります。課題は多く存在しています。なすべ

計画の実現であり、新たに発生する課題に対してもしつかり対応して参る所存です。

公約の推進

① 中心市街地の活性化につまましては、多目的活動センター「さんさん館」を拠点に、まちづくりセンター運営協議会をはじめ、基幹産業に関わる団体や町おこしグループの協力を得ながら、大通りに賑わいを作り出し、地場産品のPRと販売に向けた取り組みを更に推進して参ります。特に、この2年間において催された七夕まつり、産業まつり、クリスマスパーティー、アイスキャンドル点灯まつりやラジオ体操など年間を通じた様々な取り組みに、「物産」と「食」をテーマに加え、地域経済の活性化につなげて参ります。

② 廃屋対策につきましては、空き家等の整理により良好な生活環境を守り、美しい景観の創出を目的として、本年より空き家等の撤去促進のための補助制度を設け、廃屋対策に取り組みとともに、環境基本計画等の策定と合わせて、環境に配慮した地域づくりを推進して参ります。

③ 当地グルメの開発につまましては、有機牛肉と津別産野菜を組み合わせた商品開発が取り組まれており、試食等を重ねて改良を加えていることから、早期の商品化を期待するとともに、農業青年等による自主的な取り組みに対しても必要な支援を行って参ります。

④ 認定こども園と子育て支援センターの併用施設建設につまましては、平成27年4月の開園に向け、運営母体となる「社会福祉法人夢つべつ設立準備会」と連携を図りながら、提供する保育サービスの内容など引き続き関係者との協議を進めて参ります。

⑤ 観光事業の充実につまましては、上里の「町民の森自然公園」が、一昨年に道内で一番目の森林セラピー基地の認定を受けた後、昨年にはガイド組織である「NPO法人森のこだま」が結成され、森林セラピーガイドとして道内外の方々に充実した対応を図つていくところです。今後とも、より充実した事業が展開できるよう必要な支援を行って参ります。

⑥ 事務事業の民間委託等の推進につまましては、昨年9月30日をもって町営バスを廃止し、10月1日からは相生線・上里線が混乗スクールバスの運行に、開成線は、北海道北見バス株が新たに運行を開始したところで、少子高齢化と過疎化が進み、利用者数は年々減少していますが、バスは通学生や高齢者の移動手段として

重要な役割を果たすものであることから、今後とも公共交通の確立、維持に努めて参ります。
特別養護老人ホームいちいの園等の民間移譲につまましては、昨年7月に「社会福祉法人恵和福祉会」と基本合意書を取り交わしたところであり、平成26年4月の移譲に向け、遺漏のないよう取り組みを進めて参ります。
⑦ 議会のインターネット中継につまましては、住民と情報を共有した町づくりの一環として、議会側のご理解とご判断のもと、早期の実現を期待するものです。

人づくり・まちづくり 活動支援事業の推進

人づくりの推進につまましては、町政の推進を担う人材を育てることは、まちづくりの根幹を成すものであることから、「人づくり・まちづくり活動支援事業」をはじめ、各種研修や交流事業などを通し、なお一層の人材育成に取り組んで参ります。

引き続き行政改革を積極的に推進

平成22年4月に策定の「津別町新行政改革大綱推進計画」は、本年度前期5年計画の4年目を迎えますが、引き続き事務事業の民間委託の推進など、55項目の「行動計画」の検証を行い、行政改革を積極的に進めて参ります。